

平成25年度 事務事業評価調査 [ソフト事業]

事務事業コード

11131001

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名

特別保育事業（交流事業）

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	3	子育て環境の整備
主要な施策	1	①保育所、幼稚園における保育・教育の充実及び環境の整備
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 10 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てグループ
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	老人や異年齢児の交流を通じて対人関係を学ぶことにより、情緒・情操面の発達を支援することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>遊戯の披露や昔ながらのゲームなど双方が楽しめるメニューで、老人クラブや老人福祉施設の入所者との世代間交流、のぞみ園の通園児などとの異年齢児交流を各保育所が年6回を目途に実施する。</p> <p>▼交流先：老人クラブ、養護老人ホームチボリの森、恵愛病院デイサービス、緑風園、のぞみ園など</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	異年齢児・高齢者との交流を通し子どもの発達を支援するよう努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	児童福祉法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 子育て支援交付金	千円	542				
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		514	456	456	456
事業費 合計			542	514	456	456	456

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 交流会実施回数	回	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	23	29			
	② 交流先延べ参加人員	人	目標値	800	800	800	800	800
			実績値	516	425			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>子どもの発達の一助のみならず、交流先の老人クラブ等の参加者にも好評な事業である。</p>	<p>交流内容の充実を図り子ども達の発達を支援するとともに、交流先の方々にも参加いただける内容を盛り込んだ。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 児童が様々な人との交流を行うことは、精神面における健全な発達に効果がある。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 交流先から継続を求める要望が強く、必要性の高い事業と考えられる。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 事業費については、必要最小限で実施している。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 本事業の目的である、情緒・情操面の発達の一助という点に着目すれば、成果があがっていると考えられる。

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 近年における児童の問題として、精神的な発達度が未成熟と指摘され、このため情緒・情操面の大切な形成時期である就学前に本事業を実施することは有効と考えるので、引き続き、必要な事業である。また、平成26年度より「普通保育所運営事業」へ統合を図り継続して事業に取り組んでいく。
-----------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考 補助対象外であることを踏まえ、事業統合にあたっては事業内容の精査を行うこと。
-----------	--